PR

超高速・安定通信を追及したフルスペックモデル ドラフト11n準拠・オールギガ搭載の無線LANルータ

CG-WLBARGN

コレガ

無線LANはゲーム機やAV機器の対応がすすみ、今や一家に一台必須の装備といえる。速さと利便性を兼ね備えたコレガの新商品を紹介しよう。

Text：米田 聡

有線・無線ともに送受信速度は圧倒的

高速な無線通信が可能なことに加え、高速有線LANもサポートするのがCG-WLBARGNの特徴だ。LAN側には4ポートのギガビットスイッチングハブを内蔵。さらにIPアドレス変換のハードウェアアクセラレーションを搭載し、なんとDHCP使用時で最大850Mbpsという高速な通信が可能。まさにギガLAN時代の無線LANルータなのだ。

有線スループット

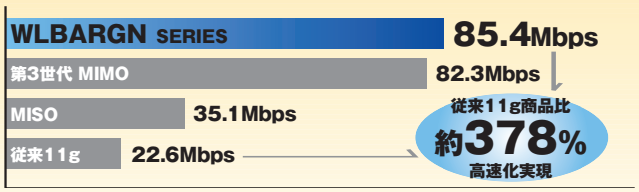
測定方法　FTPサーバー（OS：Fedora Core5、CPU：Pentium 4 2.4GHz、メモリ：1024MB）とCG-WLBARGNをLANケーブルで接続し、FTPクライアント（OS：Windows XP Professional、CPU：Pentium M 2.0GHz、メモリ：2048MB）との間を暗号化無しの状態で接続。100MBのバイナリ実行ファイルの転送速度を測定。（スループット値は環境に依存します）<2007年3月測定、コレガ調べ>

測定環境　■GN：CG-WLBARGN　■GE：CG-WLBARGE　■GPX：CG-WLBARGPXW&CG-WLBARGPXB

●FTPサーバー	CPU：Intel Pentium 4 2.4GHz NIC：Intel PRO 1000/MT	Chipset：Intel E7205 OS：Linux(Fedora Core5)	Memory：PC2700 DDR 1024MB
●FTPクライアント	CPU：Intel Pentium M Prosessor 2.0GHz NIC：On Chip(Broadcom 1G)	Chipset：Intel 915GM OS：Microsoft Windows XP	Memory：DDR2 2GB

※1 FTP測定値（DHCP接続）の数値となります。

無線スループット



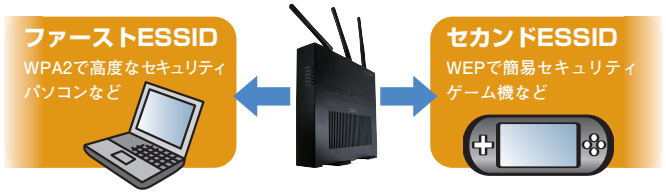
測定方法　PC2に無線子機をセットし、PC1をアクセスポイントのLAN側ポートに有線接続。電波暗室にてPC1とPC2の距離を2mにし、PC1=>PC2の通信速度をChariot（Endpointprogram v5.0）にて計測。なお、無線接続はWPA2-PSK（AES）の 暗号化の状態にて計測。<2007年3月測定、コレガ調べ>

測定環境　■GN SERIES：CG-WLBARGN&CG-WLCB144GN　■第3世代 MIMO：CG-WLBARGMH（ファームウェア Ver1.10）& CG-WLCB126GM
■MISO：CG-WLBARAGM&CG-WLCB54AGM（11g高速化技術活用機）　■従来11g：CG-WLBARGP & CG-WLCB54GL

●FTPサーバー	CPU：Intel Pentium 4 2.4GHz NIC：Intel PRO 1000/MT	Chipset：Intel E7205 OS：Linux(Fedora Core5)	Memory：PC2700 DDR 1024MB
●FTPクライアント	CPU：Intel Pentium M Prosessor 2.0GHz NIC：On Chip(Broadcom 1G)	Chipset：Intel 915GM OS：Microsoft Windows XP	Memory：DDR2 2GB

ゲーム機用に第2のESSIDが使えるマルチAP機能

CG-WLBARGNの最大の特徴といえるのが「マルチAP」だ。2つのESSIDを設定でき、2台のアクセスポイントとして利用できてしまう画期的な機能だ。ファーストESSID側は高度な暗号化で通信の安全性を確保。セカンドESSID側は高度な暗号化に対応できないゲーム機やAV機器用に使い分けられる。もちろん、セカンド側からファースト側にはアクセスできない。



CG-WLBARGNと無線LANカードのセットが当たる!! WPSクイズキャンペーン実施中

かんたん無線LAN設定 WPS クイズキャンペーン
期間限定2007年6/1～8/31まで

WPS対応機器をいち早く発売しているコレガでは、「かんたん無線LAN設定 WPSクイズキャンペーン」を実施している（2007年6月1日より8月31日まで）。簡単なクイズとアンケートに答えると、CG-WLBARGN-P（CG-WLBARGNと無線LANPCカードCG-WLCB144GNとのセットモデル）を抽選でプレゼント。詳細はコレガのキャンペーンサイトで確認しよう。

キャンペーン情報 http://corega.jp/cp/wps/

SPEC

■価格：33,600円（税込）
■サポート規格
　無線LAN：IEEE802.11b/g/n（ドラフト）
　WAN/LAN：1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
■対応OS：Windows Vista/XP/2000/Me/98SE
■サイズ：W165×D150×H33mm（アンテナ、ゴム足、突起部を含まず）
■質量：380g（本体のみ）

問い合わせ先
045-476-4039（コレガホットライン）
URL　http://corega.jp/

昨年からIEEE802・11nドラフト準拠商品が各社から登場しているが。コレガから4月に発売された「CG-WLBARGN」は従来のドラフト準拠商品とは一線を画す機能とパフォーマンス、安全性を備えた「第2世代」ともいえるアクセスポイントだ。

IEEE802・11nではMIMOを利用した高速通信を行うが、CG-WLBARGNでは送信3本、受信3本のアンテナをフルに活用することで、従来の商品では通信ができなかったり、接続はできても速度が出なかったりする悪環境でも快適な通信を可能にしている。通信環境の関係で今ひとつ無線LANに快適さを感じていなかった方にもおすすめできるアクセスポイントだ。

また、無線LANの不安な点に通信の安全性がある。WPA2をはじめとする高度な暗号化を利用すれば安全な通信が可能と分かっていても、設定が面倒だったり、ゲーム機やAV機器が対応していないため設定できない方も多いだろう。

CG-WLBARGNはそんな悩みをすべて解決した画期的なアクセスポイントでもある。WPA2など高度な暗号化もプッシュボタン1つで自動設定が可能。世界標準のかんたん無線LAN設定「WPS」に準拠しているのでWPS対応無線LANクライアントならボタン1つの簡単な設定ができるのだ。

高度な暗号化に対応できないAV機器やゲーム機が混在する環境に対しては「マルチAP」機能で対応。この機能を利用すれば、パソコンをWPA2など強力な暗号で守りつつ、AV機器やゲーム機には簡単なWEP暗号で接続できる。

CG-WLBARGNは安全性と利便性、そしてパフォーマンスを兼ね備えた、まさに新世代のアクセスポイントなのである。

WPS対応のエントリーモデルも登場

ギガLANやIEEE802・11n対応は必要ないが、ゲーム機、AV機器とパソコンの安全性を両立させたいというユーザーもいるだろう。そんな方にはコンパクトサイズの低価格モデル「CG-WLBARGSX」がおすすめだ。世界標準のかんたん無線LAN設定「WPS」やマルチAPに対応、安全性と利便性を両立させた無線LAN環境が構築できる無線LANアクセスポイントだ。

CG-WLBARGSX

■価格：9,975円（税込）
■サポート規格
　無線LAN：IEEE802.11b/g
　WAN/LAN：100BASE-TX/10BASE-T
■サイズ W138×D81×H26mm（アンテナ、ゴム足、突起部を含まず）
■質量 170g（本体のみ）